

未来への希望。  
過去への感謝。

常滑焼千年の歴史は、  
先人の気概と鍛錬によって、  
脈々と受け継がれてきました。  
常滑窯業の歴史を振り返り、  
先人の陶業・陶芸における功績と偉業、  
職人魂を再認識し、新たな決意で  
常滑焼の伝統・文化を次世代へ  
引き継いでいきます。

# 陶と灯の日



平成30年

# 10月10日水

午前10時～午後9時

場所：INAXライブミュージアム 名鉄常滑駅前ロータリー  
とこなめ陶の森 □各事業の開催時間についてはそれぞれの開催場所に確認ください。

◇主催 陶と灯の日事業委員会 (平成22年4月7日発足)  
<http://www.toko.or.jp/1010/> [事務局]常滑商工会議所 ☎0569(34)3200

(構成) 常滑市/とこなめ焼協同組合 / 常滑陶磁器卸商業協同組合 / とこなめ焼卸団地協同組合 /  
INAXライブミュージアム / あいち産業科学技術総合センター産業技術センター常滑窯業試験場 /  
常滑商店街振興組合 / 常滑市観光協会 / 知多半島ケーブルネットワーク(株) / 常滑商工会議所

駐車場に限りがございます。公共交通機関をご利用ください。  
名鉄常滑駅から知多バス知多半田駅行き「INAXライブミュージアム前」停下車



常滑焼を始めとする  
やきもの産地  
日本六古窯  
(常滑焼、瀬戸焼、  
越前焼、信楽焼、  
丹波焼、備前焼)は、  
文化庁の日本遺産に  
認定されました。



tokoname since 2010

**伊奈長三郎氏の命日、10月10日を「陶と灯の日」としました。**

伊奈製陶(街)創業者で、初代常滑市長及び常滑市名誉市民でもある故伊奈長三郎氏は常滑の陶業・陶芸の発展のため多額の寄付をされ、陶芸研究所の運営や陶業・陶芸の振興などに生かされています。

「陶と灯の日」は、常滑焼業界の歴史を振り返り、先人の陶業・陶芸における功績と偉業を再認識するとともに、新たな決意で常滑焼の伝統・文化を次世代へ引き継いでいく原動力の一助となる事業です。



旅する、千年、六古窯  
大と人、上と人、家と人が囲むのが風韻